

平成27年度 第3回 東松島市復興まちづくり計画市民委員会(総合計画策定委員会) 【開催概要】

平成27年8月26日(水)19時より、東松島市役所202会議室において、市民委員15名およびアドバイザー企業7社が出席し、平成27年度第3回東松島市復興まちづくり計画市民委員会(総合計画策定委員会)が開催されました。

【内容】

1. 第2回委員会の振り返り
2. 東松島市地方創生総合戦略(素案)について(報告)
3. 意見交換
～総合計画基本計画(素案)について～



■意見交換 総合計画基本計画(素案)について

総合計画基本計画(素案)について、ポスターセッション形式で意見交換を行いました。これまでに市内部で検討された5つの「重点施策」および計画全体の方向性や分野別の計画について、委員が市民からの目線で意見交換を行いました。また、若い世代の定住促進や産業振興等に向けたアイデアなどについて意見を出し合いました。

■意見交換結果(一部意見を要略)

- ・まちづくりの将来像に、定住促進に向けて、市外の方に東松島市に住んでみたいと思われるまちを目指すとするが、住んだことがある人が離れたくないまちを目指すという考え方もあるのでは。
- ・一流ブランドである「松島」とどのように差別化を図り「東松島ブランド」を確立するかが重要な課題。まずは、東松島市民に東松島の魅力を知っていただくことが大切。
- ・学力が高い他の自治体の施策を参考に、次世代を担う人材育成を。
- ・市民が市の政策について学べる“市民会議”のような場を継続的に設けてはどうか。
- ・仮設住宅等から新たな居住地への移転が進んでいる。居住環境の変化に応じて、一人暮らしの高齢者を地域で見守る体制づくりやコミュニケーションの活性化を図ることが必要。
- ・「まちづくり指標」に市民アンケートの満足度が用いられているが、市外の方や市への転入者・転出者に話を聞くなど、市民アンケート以外の方法も検討したほうが良い。

